

推し活からみる

女性ファンと男性ファンの意識の相違

—K-POP アイドル TREASURE の事例から—

小川美紅

本研究では、近年、多くの人に広まっている「推し活」に着目し、女性ファンと男性ファンは、推しに対してどのような意識の違いがあるのかを明らかにし、若い世代にとっての推し活の意義について考察していくことを目的としている。二次元から三次元まで様々な推し活があるなかで、筆者は、K-POP アイドル TREASURE のファンの推し活に焦点を当てた。本論を取り上げたきっかけが TREASURE のライブであり、同性である男性ファンは、どのような気持ちを持って推し活をしているのか疑問に感じたからである。

先行研究では、推し活は、SNS という媒体を通して、推しを常に近くに感じることができ、「疑似友人」、「疑似恋愛関係」といった現実世界で作ることのできない新しい関係を作っていることが明らかになっている。しかし、推し活は、一般的に女性の活動のイメージが強いため、ほとんどの先行研究は、女性ファンの推し活に焦点を当てたものが多かった。

そこで、男性ファンを含めた「TREASURE」のファンを対象に、推しに対しての感情や推し活に掛ける時間やお金の熱量を調査するため、推し活の意識についてのアンケート調査を行った。その結果、男女の推し活にかかる費用や頻度の違いは大きく見られず、推しに対して持つ感情と推しに影響され変わった点で相違があった。男性には、嫉妬心はなく、憧れ、カッコいいという感情を持っている人が多かった。女性は、推しに抱く「幸せでいてほしい」といった特別な感情や嫉妬心があり、推しの存在に影響を受けやすい。自分の内側から外側すべてにおいて自己研鑽に努めていて、推しの存在によって、自己肯定感を高めていると考える。

また、若い世代にとって推し活は、SNS が必要不可欠であり、推しを見つけるきっかけにもなり、ファン同士の交流もできる。そして、推しと「疑似恋愛関係」といった現実の世界で作ることのできない新しい関係を作ること、推しという同じ趣味で繋がったファン同士も新しい関係を構築することができる。男性だから、女性だからといって推しに対しての感情や推し活の行動を決めつけるのではなく、男女関係なく推しを自分の好きなように応援し、推し活を通して人生をより豊かにし、自分の世界を広げていくことができるであろう。